

広帯域移動無線アクセスシステム（BWA）高度化に係る 技術的検討について（案）

1. BWA 技術的条件等に関するこれまでの検討状況

- ✓ 平成 18 年 12 月、モバイル WiMAX、次世代 PHS（XGP）等の技術的条件について、「20MHz システム及び FWA システムを除く広帯域移動無線アクセスシステムの技術的条件」として一部答申
- ✓ その後、変調方式の追加、20MHz システムの導入等の高度化に対応する技術的検討を行い、平成 24 年 4 月には「広帯域移動無線アクセスシステムの高度化に関する技術的条件」として、IEEE802.16m を反映するモバイル WiMAX 及び地域 WiMAX (WiMAX Release2.0) と TD-LTE との親和性を高めた高度化 XGP (AXGP) の技術的条件について一部答申
- ✓ 周波数再編アクションプラン（平成 24 年 10 月改訂）において、広帯域移動無線アクセスシステム（BWA）の利用に関し 2.5GHz 帯での拡大（2625～2655MHz）を図ることとしていることから、同周波数帯のニーズを把握するため、平成 24 年 10 月 26 日から 11 月 8 日までの間、調査を実施

2. 2.5GHz 帯 BWA の利用に係る調査結果での希望

- ✓ WiMAX Release2.0、AXGP に加えて、国際標準化がなされた WiMAX Release2.1 の利用
- ✓ 本周波数帯と他周波数帯のキャリアアグリゲーションによる高速化
- ✓ キャリアアグリゲーションについては、隣接システムへの干渉影響を踏まえて、本周波数帯を下り専用帯域とする利用

3. 提出意見に対する考え方

- ✓ WiMAX Release2.1 で追加された Extended mode では従来規格との互換性を確保しつつ、3GPP 規格の参照によって TD-LTE との親和性を有していることから、AXGP の Global mode との類似性が高く、その導入に必要な技術的検討は、過去の BWA 高度化に係る技術的検討に包含される可能性あり

- ✓ キャリアアグリゲーションは、現在の BWA 技術的条件の範囲内で導入できる可能性があるが、現在、進められている国際標準化の状況も踏まえた検討が必要
- ✓ 本周波数帯を下り専用帯域とする利用については、国際標準化の進展を踏まえた上で、国内への導入に係る検討が必要
- ✓ これまでの技術的検討で想定していなかった非同期 BWA システムの共存条件について検討が必要

4. 今後の進め方（案）

周波数再編アクションプランにおいて「BWA の更なる高度化及び周波数の拡大（2625～2655MHz）のための技術基準を平成 24 年中に策定する。」とされていること、また、本年 4 月の情報通信審議会一部答申に基づいた BWA 周波数拡大に必要となる制度整備が進められていることから、以下の検討を行う。

- ✓ BWA 高度化に係る技術的検討として、WiMAX Release2.1 の導入のために新たな技術的検討が必要か、BWA 高度化作業班を設置して、本年 4 月の情報通信審議会一部答申の内容を検証
- ✓ 本年 4 月の情報通信審議会一部答申で示されている BWA 高度化の技術的条件に基づいて、非同期 BWA システム（同一周波数／隣接周波数）等の共存条件を検討